

# 質疑・討論他

6月議会補正予算について2名から質疑がありました。また、最終日に『白馬バレー』世界に冠たる通年型マウンテンリゾートの実現に向けたグランピング等によるアクティビティ強化・魅力向上事業」1億5500万円について付帯決議の動議が出され、全員の賛成で採択されました。

## 議案第46号 一般会計補正予算(第2号)

**質問者**津滝俊幸議員

**問** 地方創生交付金事業の具体内容は。

**答** 事業名称は『白馬バレー』世界に冠たる通年型マウンテンリゾートの実現に向けた、グランピング等によるアクティビティ強化・魅力向上事業。地域未来投資促進法に基づき選定された索道2企業が、八方尾根及び麓でグランピング施設やアウトドアスポーツメーカーが入った観光発信拠点を建設するもの。

**問** 事業主体と、地方債を発行する理由は。

**答** 地方創生交付金の申請は村。事業主体は地域経済けん引企業2社。地方創生交付金事業は国2分の1、残りは地方財政措置の対象となり、特別交付税や地方債を発行が出来ることになっている。

**問** 地方債の財源確保は。

**答** 村の負担部分については、どのよう国から財政措置されるか見えていない部分もあるが、法の仕組みに則って行うことが前提。

**質問者**加藤亮輔議員

**問** 議会事務事業534万4千円の取り止め理由と今後の取り扱い。

**答** 議会費に計上した設計管理費、工事請負費は、庁舎の維持事業科目へ変更の付帯決議を受け、議会費から減額。現在、庁舎の改修事業として協議中。

**問** 地方創生推進交付金事業1億5千5百万円の事業は、資金的に有利な事業だと思いが、広く事業者に知らせたか。また、2

社を村が申請した内容は。

**答** 法律ができたら内容を説明し、手をあげる企業がないか聞くのが理想的だが、今回は、地域経済が冷え込んでいる中で、地域の企業を後押しして地域活性化につなげるという、地域未来投資促進法が基で、経産省が各種データを使って地域経済けん引企業を全国で約2000社選び、その中に2社が含まれたことが大きな要素。

## 付帯決議の要旨

**発議者**篠崎久美子議員

- 5年間にわたり一般財源を支出する大型予算の事業である。長期にわたる大型地方債発行が、将来の村民にも負担をかけることを重く受け止め、真に本村観光と地域住民に大きな経済波及効果をもたらすよう、村は自らの取り組む事業を明確にして、必要な場合は事業者に進言するなどして、責任をもって事業者と協力して事業遂行を目指すこと。
- 毎年、事業の進捗状況を監視、把握するとともに、事業の検証をおこない、その結果を翌年度の事業計画に反映していくこと。
- 今後の事業予算の拡大をできるだけ避け、補助金については、計画に則った執行が行われているかを、補助事業期間はもとより地方債の償還が終了するまで、事業者に必要な書類の提出を求め、毎年度確認すること。
- 右記2、3については、透明性をもって公開できる体制を整えるとともに、議会への報告をこころがけること。
- 地域に有利な国の補助金などの情報は、村ホームページに掲載したり、商工会と連携をはかるなどして事業者に広く情報を提供し、利用機会の公平性を保つこと。
- 今後、地域に大きな影響を及ぼすと想像される事業や、大型予算の事業などについては計画的な行政を心掛け、あらかじめ議会に対し十分な説明の機会を設けるなどして、ともに情報・意見交換を重ね、知恵を出し合い、もってともに未来に向けて地域を創造していく姿勢を意識すること。

## ● 第1回臨時会(4月23日) 議決結果 ●

件名	議決結果
損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について(村道上の事故における損害賠償2件)	承認 賛成: 全員
損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について(水道工事に関する損害賠償1件)	
工事変更請負契約の締結について(南部グラウンド改修工事)	可決 賛成: 全員
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	